



西尾市立
西野町小学校



学校紹介

西野町小学校は、西尾市北西部に位置し、明治 25 年の開校以来、130 年の伝統と歴史を有する学校です。

西野町地区は抹茶生産日本一の西尾市の中でもまさにお茶どころで、学校周辺一帯にはお茶畑が広がっています。

特徴的な事業としては、「茶摘み」や「西野町茶会」、「御殿万歳部の活動」があります。

● 学校教育目標

心美しく、すすんで学ぶ、たくましい西野町っ子の育成

- ・心の美しく、すすんで学ぶ子（徳育）（知育）
- ・命を大切にし、ふるさとを大切に思う子（体育）（茶育）



御殿万歳部

昭和 63 年に発足。今年で発足して 35 年になる御殿万歳部は、お正月の「新春の舞」を始め、多方面からの依頼を受け、万歳を披露し、喜ばれています。御殿万歳と呼ぶのは、座敷に上がって舞った事に由来します。



茶摘みと校内茶園

昭和 16 年に校区の茶園に茶摘みに出るようになったのが始まりとされており、約 80 年の歴史がある。

校庭にも茶園があり、プールの東側に昭和 61 年完成し、本校の地名をとって「御所ノ下茶園」と名付けました。

Nishinomachi

Primary School / Parent Teacher Association

2022





積極的な学校支援

おまっちゃん招致活動

入学式の賑わい支援

令和4年4月6日、47名の新入生が入学し、全校児童数305名で令和4年度がスタート。今年も入学式に「おまっちゃん」が登場してくれました。PTA活動の一環で、「おまっちゃん」の招致活動を行っています。

「おまっちゃん」について

- 「おまっちゃん」のマスコットデザインについて
平成21年度卒業生の作品。当時児童会が募集をかけた中で選ばれた。
- 着ぐるみ「おまっちゃん」について
PTA記念事業として平成29年度に作成。

「西野町茶会」の運営支援

西野町小学校では、昭和24年から地場産業の振興と勤労体験を目的とした「茶摘み」が行われています。校庭にも昭和61年に完成された、地名に因み名付けられた「御所ノ下茶園」がプールの東側にあります。毎年、ここで4～6年生が地元生産農家の指導のもと、茶摘みの練習を行い、その後、地域の茶園へ茶摘みに行っています。茶摘み後に、「西野町茶会」を開催し、保護者をもてなしています。

PTAでは、裏方として水屋での抹茶点てや茶菓子の準備等を行い、西野町茶会の運営を支援しています。



コロナ禍における PTA 活動と学校支援

新型コロナウイルス感染症による活動制限が続く中、可能な範囲での活動を行いました。

学校保健委員会（AED 講習会）

突然起きる事故や障害の初期対応を適切に行えるよう、応急処置の仕方を身につける事を目的としています。

学校から保護者へも広く呼びかけ、AED の活用がいつでもどこでもできるように知識や技術を身につけ、児童の健康安全を推進しています。

PTA 役員、PTA 保健委員が参加し、応急処置の基本ポイントや AED の取り扱い方法を学びました。



運動会での検温

コロナ禍でも、感染対策を行いながら、できるだけ多くの人に安心して運動会を参観してもらえるようにと、PTA としても活動を考えました。

そして、PTA として運動会の会場への入場時に検温と手指消毒を行うブースをつくり、実施しました。

できるだけ多くの参観者にスムーズに検温・手指消毒をしてもらうため、ラインを3つ作り、よりスムーズな実施を心掛けました。参観者の皆様のご協力もあり、大きなトラブルもなく、子どもたちの頑張っている姿を直接見ていただくことができました。



資源回収

年4回、校区内の10地区で地域住民の協力を得て活動しています。毎回の資源回収活動に回収代金に加え、西尾市ゴミ減量課より、補助金をいただけ、特別会計の大きな収入源になっています。同収入により、学校花壇の整備や樹木の剪定、また施設補修費に充てる事ができ、子どもたちの学校生活の充実につながっています。

資源回収による収入がどのように役立っているのか、経験のあるPTA 役員は知っていますが、未だ知らない方も多くいるのが現状です。

今後は同活動の意義について、多くの方に知っていただけるよう周知をはかっていきたいと思ひます。

